

2016-B		V 13-B			
拠出金・基金 の名称		経済協力開発機構拠出金(貿易・農業局及び環境局)			
種 別		☑イヤマークのみ □一部イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】経済協力開発機構(OECD)					
【所管官庁担当局課・室名】 農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ／国際機構グループ					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 OECD加盟国の農業政策の分析・評価や農業分野におけるグローバルバリューチェーン(GVC)の分析等の幅広い分析活動への我が国の人的、財政的な貢献のため拠出を行っている。また、バイオテクノロジーに係る規制等の国際調和を推進するため、OECD環境局に拠出を行っている。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成28年度	63,122	461	-	1ユーロ= 137円	0
平成27年度	69,770	498	-	1ユーロ= 140円	0
平成26年度	68,471	535	-	1ユーロ= 128円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 OECDは農業政策等に係るスタディや議論を定期的に行う場として農業委員会を設けており、その下にある作業部会では、加盟国の農業政策を分析・評価するモニタリングレポートの他、計量経済モデルを用いた貿易・農業政策の影響分析(農業アウトルック)等の活動を実施している。また、バイオテクノロジーに係る規制等の国際調和に向けた活動も実施している。これら活動の意義は大きい。 わが国の食品関連企業の進出先や農産物の輸出先として東南アジアは重要な地域であるため、わが国から農業アウトルックにおいて東南アジアを特集とすることを提案しており、28年度については29年度のレポート公表に向け準備作業を行った。わが国としては、OECDの活動の重要性や有効性を評価しつつ、GVC分析やバイオテクノロジー規制の国際調和などの特に重要な作業を実施することとしている。					
【備考】					